

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
専門学校 デジタルアーツ東京	平成2年11月30日	菅原 一博	〒177-0021 東京都豊島区西池袋2-38-8 (電話) 03-5992-5800																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人菅原学園	昭和35年3月25日	理事長 菅原 一博	〒989-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-11-10 (電話) 022-221-1111																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	文化教養専門課程	声優学科 (令和2年度に「アニメ声優学科」より名称変更)	※学年進行により、令和3年度に名称変更の申請を行う。		—																						
学科の目的	発声、滑舌、芝居、表現力、歌唱などの声優として必要な技術取得を目的とし、幅広く声優や俳優、タレントとして活躍する人材を育成する。																										
認定年月日	平成29年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1800時間	360時間	0時間	1440時間	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
56人	28人	2人の内数	3人	8人	11人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目50点以上・出席率75%以上 ABCD評価・C以上合格																						
長期休み	■学年始:4月1日～4月9日 ■夏季:7月26日～8月25日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級及び卒業には履修した全ての科目の評価がC評価以上であることが必要																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・定期的な個別面談を実施 ・校内カウンセリングの活用			課外活動	■課外活動の種類 イベントのMC・ライブ。 外部収録案件。 ■サークル活動: ■国家資格・検定/その他・民間検定等																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 声優業界はオーディションを経てプロダクション所属となることにより、初めて仕事を受けられる立場になるが、その前段階として、各プロダクションが運営する養成所を経由するルートが一般的である。 ■就職指導内容 ・芸歴書の作成 ・オーディション指導 ・オーディション課題指導 ■卒業者数 12 人 ■就職希望者数 5 人 ■就職者数 2 人 ■就職率 40.0 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 16.7 % ■その他 声優養成所入所 6名。 (令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネス能力検定 ジョブパス 3級</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ビジネス能力検定 ジョブパス 3級	③	12人	8人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
ビジネス能力検定 ジョブパス 3級	③	12人	8人																								
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成31年4月1日時点において、在学者24名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者22名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由による修学継続困難、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。			■中退率 8.3 %																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・奨学金制度(年間:24万円支給) ・授業料等減免制度(◆クリエイティブ優遇:5万～20万円免除 ◆各種優遇(部活動、課外活動、皆勤、資格・検定、親族の内1つ選択):5万円免除 ◆卒園児支援:10万円免除) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	https://www.dat.ac.jp/course/voice/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学園では、「専門教育」と「人間教育」の両立を目指し教育をするという「キャリアカレッジ」構想を昭和57年に設定されている。この方針に基づき、外部の企業等の方々から、専門技術において現場で必要とされている基礎技術から最新技術の助言を、また職場におけるビジネスマナーからモラルについてのご意見を頂き、学内で協議した上で本学のカリキュラムや授業方法を中心に適宜反映させ実践する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校生が目指す業界は、ポップカルチャーと呼ばれる日本の新しい文化になる。この文化の動向を見ると非常に早いサイクルで変化している。本校ではこの動向を的確に捉えるため、この教育課程編成委員の外部委員と定期的に学校側委員が意見交換を行うことにより業界が求める人材を輩出できるカリキュラムや授業方法を検証し、開発するための委員会として位置づけをしている。委員会での検証結果は、各学科長及び学科担当教員で協議し、改善項目を部・課長職教員へ報告する。部・課長職教員から校長、副校長へ報告を行い、意思決定に反映されるものである。また、教育課程編成委員会にも報告を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
福田 敏夫	至誠館大学教授	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	②
関根 史暁	株式会社サンスター 技術推進部課長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	③
池田 聖児	株式会社サンシャインコーポレーション 取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	③
東海林 龍	株式会社レオパードスチール 代表取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	③
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	③
須藤 創	株式会社エスプラス 代表取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	③
都築 敏明	専門学校デジタルアーツ東京 副校長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
五十嵐 ゆかり	専門学校デジタルアーツ東京 学生部 部長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
平井 俊之	専門学校デジタルアーツ東京 教務部 課長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
大貫 良祐	専門学校デジタルアーツ東京 フィギュア原型学科 学科長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
藤田 正枝	専門学校デジタルアーツ東京 アニメ学科 学科長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
青田 美穂	専門学校デジタルアーツ東京 ノベルス・シナリオ学科 学科長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
御園 行洋	専門学校デジタルアーツ東京 声優学科 学科長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	
三井田 大樹	専門学校デジタルアーツ東京 イラスト学科 学科長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年7月27日 15:00～16:00

第2回 令和2年8月20日 15:00～16:00

(令和元年度開催日時(実績))

第1回 令和元年7月29日 15:00～16:00

第1回 令和元年8月22日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

今年度は、「コロナ禍」の影響により、フィギュア、アニメ、声優、ノベルス・シナリオ、イラストの各業界動向が一変し、『仕事』自体に大きな変化が発生している。そのため、各業界の変化への対応状況について話題となった。まず、「リモートワーク」が多くなったことにより、仕事の確認の取り方や他者の意見を聞く等の「コミュニケーション能力」が重要であるとの意見が述べられた。各学科のカリキュラムの「実践学習」に於ける「一般教養」「ビジネスマナー」の取り組みの他に、各カリキュラムでの業界へ見合うコミュニケーション能力向上を図ることとした。また、外部委員から「コロナ禍」の影響で、業界が求めている仕事の多様化が出てきていると述べられた。例えば、アニメ業界に於ける作画のデジタル化の急進、イラスト業界に於ける3Dデータのレタッチ作業や映像作成、声優業界に於けるナレーションやVtuberの仕事等が挙げられた。外部委員からは、本校のカリキュラム内容に於ける多様化への対応について、一定の評価はあるが、今後も業界動向を掴み、カリキュラムへどのように反映していくかが検討課題となる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

声優・俳優、エンタテインメント業界だけでなく、一般企業に幅広く適応できるプレゼンテーション指導も行える講師を派遣する企業・業界団体などを選定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学校側(学科長)と企業から派遣された講師が事前に打ち合わせを行い、実習内容や学修成果の評価方法などについて定める。企業等の講師が、連携する実習時間にオーディション審査時に必要とされる様々な指導を行うとともに、社会人として必要とされるコミュニケーション能力等の指導も併せて行う。連携する実習時間終了後に企業などの講師が学修成果の評価を行い、学校側と打合せをし成績評価を付ける。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
オーディション対策	業界オーディション審査時に求められる立ち居振る舞いや自己PRの指導などを行う。希望者には一般企業への面接対策も実施する。	株式会社ヒーローガレージ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(基本方針)

第2条 法人は、次に掲げる基本方針に基づき、教育研修を推進する。

- (1) 職務遂行に必要な実践的、専門的知識、技術及び技能の習得及び向上、広い視野の涵養を図る。
- (2) 優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。
- (3) 教職員の意識向上を図るとともに、自己啓発を促進する。
- (4) 教職員の学生等に対する指導意欲と士気を高め、法人愛精神を涵養する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

教育研修規程に基づき、アニメ声優学科の教員が、専攻分野における実務の研修として、業界動向について説明を受け、最新の情報交換等を行う。期間、対象者、内容は以下のとおりである。

・研修名「宣材写真撮影のポイントについてアドバイス」(連携企業等:レオパードスティール)

期間:令和元年5月21日(火) 対象:青田美穂・御園行洋

内容:(講義形式)オーディションにあたってのプロフィール写真撮影におけるポージングや服装に関することについて講義を受けた。

・研修名「劇場設備の説明」(連携企業等:スーパーエキセントリックシアター)

期間:令和元年10月23日(水) 対象:青田美穂・御園行洋

内容:(講義形式)「サンシャイン劇場」の部隊照明や音響、バックステージの構造について講義を受けた。

② 指導力の修得・向上のための研修等

教育研修規程に基づき、教育責任者が定める研修対象者の教員に対し、以下研修等へ参加を指示し、指導力の修得・向上を図る。期間、対象者、内容は以下のとおりである。

・研修名:「不登校 最前線」及び「クラスで学ぶ 人付き合いの極意」(連携企業等:NPO法人メンタルぶらす協会Reforest 事務局)

期 間:令和元年8月5日 対象者:折本陸郎

内 容:(講義形式)過去と現在での不登校タイプの変化について、不登校を少しでも減らすために学校現場での取り組み方について講義を受けた。

今ドキ世代の人付き合いとは、人付き合いの苦手な生徒へのアプローチ、人付き合いを考える上で大切なことについて講義を受けた。

・研修名:「イマドキ世代の叱り方のコツ」(連携企業等:NPO法人メンタルぶらす協会Reforest 事務局)

期 間:令和元年8月29日 対象者:込山小織

内 容:(講義形式)今ドキ世代の特徴をふまえた対応について、今ドキ世代への叱り方のコツについて講義を受けた。

・研修名:「学生・生徒のコミュニケーションを高めるアサーション」(連携企業等:専修学校各種学校協会)

期 間:令和2年1月30日 対象者:青田美穂、三井田大樹、込山小織、御園行洋

内 容:(講義形式)相手の気持ちを尊重しながら自分の考えや気持ちを伝える事はコミュニケーションを取ることの重要性について講義を受けた。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

教育研修規程に基づき、声優学科の教員が、専攻分野における実務の研修として、業界動向について説明を受け、最新の情報交換等を行う。期間、対象者、内容は以下のとおりである。

・研修名:「新人声優のための宣材写真撮影について」(連携企業等:キャパ)

期 間:令和2年8月3日(月) 対象:御園行洋

内 容:(講義形式)オーディション用に撮影する宣材写真の魅力的な撮り方について講義を受けた。

・研修名:「コロナ禍における声優業界の変化と展望」(連携企業等:レオパードスタイル)

期 間:令和2年12月開催 対象:御園行洋

内 容:(講義形式)新型コロナウイルス感染症の影響による声優業界の現状について。今後の声優業界の展望や変化について講義を受ける。

② 指導力の修得・向上のための研修等

教育研修規程に基づき、教育責任者が定める研修対象者の教員に対し、以下研修等へ参加を指示し、指導力の修得・向上を図る。期間、対象者、内容は以下のとおりである。

・研修名:「臨床心理学の基礎知識」(連携企業等:臨床心理士)

期 間:令和3年2月25日 対象者:全教員

内 容:(講義形式)学生の状態別の問題と支援について講義の受ける。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校で作成した自己点検・事項評価報告書内容の結果及び課題の改善に向けて学校側より項目毎に説明を行い、学校関係者評価委員のそれぞれの立場から専門的・客観的な観点から評価を受け、この評価に基づき意見交換を行うことにより、自己点検・自己評価の課題の改善をより良いものにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	◎人材育成・教育体制・業界交流
(2) 学校運営	◎運営方針・事業計画・情報公開
(3) 教育活動	◎人間教育・技術習得・人間形成
(4) 学修成果	◎学力向上・就職率向上・退学率軽減
(5) 学生支援	◎キャリアサポート・就職ガイダンス・担任制
(6) 教育環境	◎設備充実・学校環境・少人数制
(7) 学生の受入れ募集	◎学生募集・体験入学・学校説明会
(8) 財務	◎適切な財務運営維持
(9) 法令等の遵守	◎個人情報等の各種法令の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	未掲載
(11) 国際交流	未掲載

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

上記9項目の評価について、本学の担当部署の学校関係者評価事務局より説明し、内容を精査して改善することにした。

具体的には、「コロナ禍」の影響により、オンライン授業の取り組み状況の意見があった。設置学科の特性上、対面授業が中心となっているが、オンライン授業用の設備導入を進めていることや一部の学科では、オンライン授業配信を実施している旨を説明した。また、学科により専門的なソフトウェアの必要性があり、学生側がそれらを揃えることは大変ではないかとの意見があった。対策としては、学校のパソコンを貸し出すこととした。今後の状況により、対策を検討することとした。

今年度は、「就職」に於ける求人が減少し学生にとって厳しい年となると予想され、就職活動には専門性だけでなく人間力もトータルで問われることが例年以上と思われるがどのような対策が考えられるかとの意見があった。本校分野の学生が不足ぎみのビジネス能力を1年次より担任が徹底して指導していること、その成果としてビジネス能力検定ジョブパス3級の取得を全学生がめざし勉強している。ただし、授業開始が1ヶ月半遅れたことで就職活動に影響が出ているため、担任及びキャリアサポートセンターとの連携を更に強化して取り組むこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
関根 史暁	株式会社サンスター 技術推進部課長	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	企業等委員
池田 聖児	株式会社サンシャインコーポレーション 取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	企業等委員
東海林 龍	株式会社レオパードスチール 代表取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	企業等委員
藤沢 理子	株式会社エッジワークス 取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	企業等委員
須藤 創	株式会社エスプラス 代表取締役	令和 2年4月1日～ 令和 3年3月31日(1年)	企業等委員
脇 園香	アニメーター	平成31年4月1日～ 令和 2年3月31日(1年)	卒業生
平山智邦	有限会社ツチキン 取締役	平成31年4月1日～ 令和 2年3月31日(1年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

公表時期: 令和2年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の職業教育及び専門技術教育や学校の状況等を、学校関係者にホームページを活用し積極的に公表し専門学校として社会の理解を深め、これらの者と連携・協力関係を構築し、実践的職業教育機関としてより教育の質の確保・向上を図っていく。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	◎設置者・所在地・連絡先・校長・沿革・目標・計画
(2) 各学科等の教育	◎教科目標設定・進級卒業認定・授業時間・学期・学科別情報
(3) 教職員	◎教員数・組織図
(4) キャリア教育・実践的職業教育	◎デビュー就職体制・職業実践教育・キャリア教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	◎キャンパスライフ・施設整備・イベント情報
(6) 学生の生活支援	◎学習生活指導・学生相談・メンタルケア
(7) 学生納付金・修学支援	◎学費納付金・学費支援制度
(8) 学校の財務	◎貸借対照表・収支計算書・財産目録・事業活動・監査報告書
(9) 学校評価	◎自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	未掲載
(11) その他	未掲載

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.dat.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 声優学科) 令和2年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			実践学習	一般常識やコミュニケーション能力向上を目指した教養を学ぶ。	1通 2通	240	16	○			○		○		
2	○			業界研究	声優業界・芸能界に関する情報収集をはかる。業界からゲストを招き特別授業を開催し、最新の情報収集に役立てる。	1通 2通	120	8	○			○		○		
3	○			MC&ラジオ	トーク力向上やラジオパーソナリティとして必要なスキルを学ぶ。	1通	60	4			○	○			○	
4	○			パントマイム	声優として必要となる想像力や空間表現のスキルを学ぶ。	1通	60	4			○	○			○	
5	○			オーディション対策	業界オーディション審査時に求められる立ち居振る舞いや自己PRの指導などを行う。希望者には一般企業への面接対策も実施する。	2通	60	4			○	○			○	○
6	○			殺陣	身体を使った表現方法や声の出し方などで声優として必要な身体表現や精神性を学ぶ。	1通	60	4			○	○			○	
7	○			朗読	朗読・ナレーションの教材を使い表現力や想像力を養う。	1通	60	4			○	○			○	
8	○			滑舌（アフレコ）	基礎である滑舌を中心に声優の基礎の習得する。	1通	120	8			○	○			○	
9	○			演技演習	声優に一番必要な演技力向上をはかるため、演技台本や無対象での芝居などを行う。	1通	120	8			○	○			○	
10	○			ダンス&ステージング	身体を使い、エンターテインメント業界で必要になるリズム感やダンス表現を学ぶ。	1通 2通	120	8			○	○			○	
11	○			卒業公演	2年間の演技の集大成として舞台公演を行う。	2通	120	8			○	○			○	
12	○			エチュード	シアターゲームや感情開放、無対象の演技などを行い演技力向上をはかる。	1通 2通	240	16			○	○			○	

13	○		ヴォーカルトレーニング1	歌唱発声の仕方や音の取り方・聞き方など歌唱するうえでの基礎を身につける。	1通	60	4			○	○			○
14		○	アニメアフレコ(声優専攻)	アニメのアフレコのスキルを磨きながら、業界のノウハウやスタジオのマナーなどもレクチャーする。	2通	120	8			○	○			○
15		○	外画・ナレーションアフレコ(声優専攻)	洋画の吹き替えやナレーションのノウハウを学び、表現力をアップさせる。	2通	120	8			○	○			○
16		○	映像表現(声優専攻)	声優のマルチなジャンルに対応するため、映像を使った演技を学ぶ。	2通	120	8			○	○			○
17		○	ヴォーカルレッスン(アニソン・タレント専攻)	歌でのライブ形式の歌唱力アップの授業。パフォーマンスでの見せ方なども学ぶ。	2通	120	8			○	○			○
18		○	ヴォーカルトレーニング2(アニソン・タレント専攻)	1年次に学んだ基礎をふまえて、更なるテクニック向上をめざす。	2通	60	4			○	○			○
19		○	アフレコ(アニソン・タレント専攻)	アニメを中心としたアフレコ演習、キャラクターに合わせた表現力を身につける。	2通	120	8			○	○			○
20		○	音楽概論(アニソン・タレント専攻)	作詞や作曲、歌の歴史や知識などを学ぶ。	2通	60	4			○	○			○
合計					20科目			1800単位時間(120単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業の認定は、各課程のカリキュラム表に定められた教科目を履修し、所定の教科を取得し、かつ、卒業判定会議に諮り、校長がその学科の卒業を認定します。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。